



# 令和8年度 十日町市立ふれあいの丘支援学校 グランドデザイン

□児童生徒 34 人 (小学部 20 人 中学部 14 人) □教職員総数 31 人 (R8.4.1 現在)



本校は、「**共生の理念**」を教育活動の根幹に据え、十日町小学校と十日町市発達支援センターの三施設が併設された、全国でも例のない「**夢の学校**」として、平成 25 年 4 月に開校。令和 4 年 4 月に 10 周年を迎えた。令和 8 年度は 14 年目。

## 県の学校教育の重点

- 児童生徒が主役の授業をととした確かな学力の育成
  - ・個別最適な学びと協働的な学び
  - ・学習習慣
  - ・学習評価
- いじめをしない、許さない、命を大切にすること意識の醸成
  - ・道徳教育
  - ・特別活動
  - ・人権教育、同和教育

## 十日町市学校教育のめあて

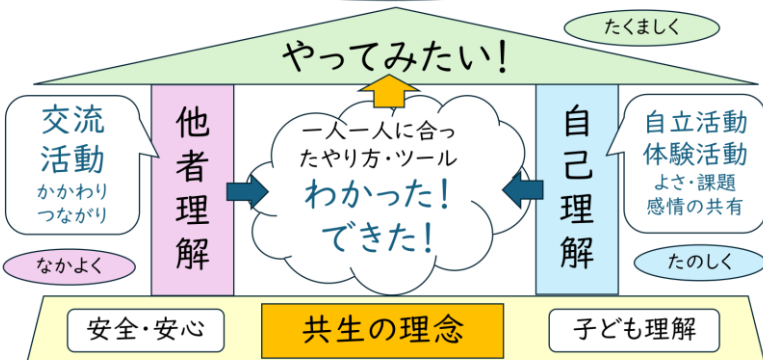
「ふるさとに遊ぶ。共に生きる。自ら創る。」  
子どもにかかわる全ての人が、子ども一人一人を理解しようとするところから始まる

## 具体的な学びの姿

～共生の理念の具現化～

くめざす子どもの姿>

自他を認め、尊重し、自分らしく生きる



|  |  |  |
|--|--|--|
| <b>交流及び共同学習</b><br>【校内でのかかわり】<br>十日町市小中一貫教育<br>【他校とのかかわり】<br>・十日町小との交流<br>・居住地校交流<br>・同世代間交流<br>※小→中へ段階的に広げる | <b>地域・社会とのかかわり</b><br>【校外学習】<br>【地域学習】<br>【中高連携事業】<br>※学校での学びを生活へ広げ、自己有用感を高める<br>R8校内研修テーマ「深い学びにつながる評価の工夫」 | <b>自立活動</b> 自己理解を深める<br>【自己実現】<br>強みの発揮・自己肯定感<br>【力を伸ばす】<br>自己決定・調整力<br>社会や集団のルール理解<br>【土台づくり】<br>安心・安定・信頼関係 |
|--|--|--|

<交流及び共同学習×自立活動×地域との関わりによる「自分らしく生きる力」の育成>

|  |   |
|--|---|
| <b>&lt; R8の重点的な取組 &gt;</b><br>・給食後(13:30)下校日年間12日<br>・フリー参観日(6・9・1月)<br>・ホームページ、H&Sでの情報発信の充実<br>・保護者のつながりの場の増大<br>・交流活動と自立活動と校外学習のつながり | ◎多面的で深い子ども理解へ<br>◎学校・保護者・地域、現在から将来へのつながりの拡大<br>◎教職員の子どもと向き合う余裕の捻出<br>※年間の年次有給休暇の平均取得日数を12日以上に月の時間外在校時間が45時間以下の割合を95%に |
|--|---|

## 教育目標

**なかよく たのしく たくましく**

## 目標実現の基本方針 及び 重点指導事項

### ○なかよく…「ハロー」

同年代や異学年との関わりから地域の人たちとの関わりへと、人間関係を発達段階に応じて**広げる**。

- ・あいさつの習慣化
- ・小・中学部連携による計画的な取組
- ・十日町小や他校との交流及び共同学習の充実及び「共生の理念」の理解推進

### ○たのしく…「レッツ・エンジョイ」

地域の人・もの・ことと関わり、豊かな経験を積み重ねることにより、将来に必要な知識技能を身に付け、自分への自信を**深める**。

- ・生活が潤うための発達段階に応じた知識技能の習得
- ・生活年齢に応じた豊かな体験の充実
- ・ふるさと学習や地域を教室にした学習の充実及び「共生理念」の理解推進

### ○たくましく…「レッツ・チャレンジ」

身近な人や生まれ育った地域のために、自分のできることを考え仲間や地域の人と実行することで、学校や地域での生活の充実に貢献し自己有用感を**高める**。

- ・基本的生活習慣の確立
- ・仲間や地域の人と一緒に考え、主体的に学ぶ体験の充実
- ・「人のため、地域のため」を考えた学習の計画的な取組

## 学部の目標

| 小学部   | 中学部   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わる自分なりの挨拶の習慣化</li> <li>・同世代の友達や地域の人と関わる力の育成</li> <li>・基本的生活習慣の育成</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での活動や交流活動を通じた絆の深化</li> <li>・地域の社会資源を活用した体験活動の実施</li> <li>・卒業後の進路を見通したキャリア教育の充実</li> </ul> |

支援 ↑ 協働 ↓ 発信

## 夢・願い・期待

本校に託されている夢

- 共生、共学の理念を、地域においても具現化すること
  - 地域の特別支援教育の推進役となり、小中学校における充実を図ること
- 保護者：可能性を十分に伸ばしてほしい。場に応じた行動や楽しんで生活ができるようになってほしい。交流教育を進めてほしい。
- 職員：家庭や地域とつながり、子どもを共に育てたい。子どもからも学び、子どもと共に育っていききたい。
- 地域：共生共学により、優しい心、豊かな心を育ててほしい。専門性の発揮や相談活動を充実してほしい。

## 地域支援

～特別支援教育の推進役～

- 特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な教育相談や、研修や情報提供等による地域支援の取組 (センター的機能の充実)

### <教育相談・地域支援>

- ・小中学校への要請訪問、小中学校からの教育相談
- ・就学相談
- ・授業体験
- ・関係機関との連携
- ・発達検査等の実施

### <研修>

- ・市教育センターの特別支援教育研修講座への協力
- ・公開授業の実施及び講演会等の開催
- ・研修情報の紹介
- ・校内研修への協力

### <情報提供>

- ・HP等による教育活動の紹介
- ・特別支援教育に関する情報提供
- ・オープンスクールの実施



十日町小・ふれあいの丘PTA ほぼえみの会 学校運営協議会(学校支援ボランティア) 後援会 同窓会など  
十日町市・津南町の企業及び福祉事業所 公共施設 商店街 居住地校 郡市内小・中学校 県立川西高等特別支援学校など